


災害対応プロジェクト・アンケート報告

花 菌 悟

東京外国語大学留学生日本語教育センター

hanazono@tufs.ac.jp



アンケート概要

JLC-TUFS修了生のみなさん、

震災(しんさい)の被害にあわれた方に、深くお見舞い申し上げます。JLCでは特に被害はありませんでしたが、今後、東京にも同じような地震がおこるかもしれません。
JLCは、その準備のために、修了生のみなさんの意見を聞いて、JLCで学ぶ留学生のための災害対応マニュアルを作ろうと思っています。以下のアンケートに答えていただくと、たいへん助かります。なお、回答については、皆さんの名前を出せずに分析し、プライバシーには十分気を付けますので、事実を素直にお書きください。

回答はこのメールに返信(res)する形でお願いします。日本語か英語で記入してくださるようお願いいたします。

「留学生と作る災害対応マニュアルプロジェクト」チーム
宮城 徹、土屋順一、花蘭 悟、中井陽子

3月11日東日本大震災に関するJLC-TUFS修了生へのアンケート

※選ぶ質問には()に(v)のようにvを入れてください。)

[例](v)文系・()理系) ←文系の場合

(1)現在の所属大学 [][()文系・()理系]

(2)学年[]

(3)2011年3月11日の東日本大震災時に、どこにいましたか？

[県 市 町][海外]

(4)震災直後(3月11日～12日)、あなたの安否について誰と連絡をとりましたか？

・母国の親族 [()あなたから連絡した・ ()親族から連絡が来た]

・母国の友人 [()あなたから連絡した・ ()友人から連絡が来た]

・日本にいる親族、友人[()あなたから連絡した・ ()親族・友人から連絡が来た]

質問項目

1. 現在の所属大学、文系・理系、学年
2. 2011年3月11日の東日本大震災時に、どこにいたか？
3. 震災直後(3月11日～12日)、安否について誰と連絡をとったか？
4. どのような方法で連絡をとったか？
5. 震災後、安否について、大学から、問い合わせがあったか？
6. 震災後、1～2週間に、何か困ったことがあったか。
7. 上で書いた「困ったこと」は解決できたか
 - ・その他、JLC-TUFSに伝えたいことがあったら、書いてください。



* アンケート発送数136

(関東以北の東日本にいた学部在学中の学生)

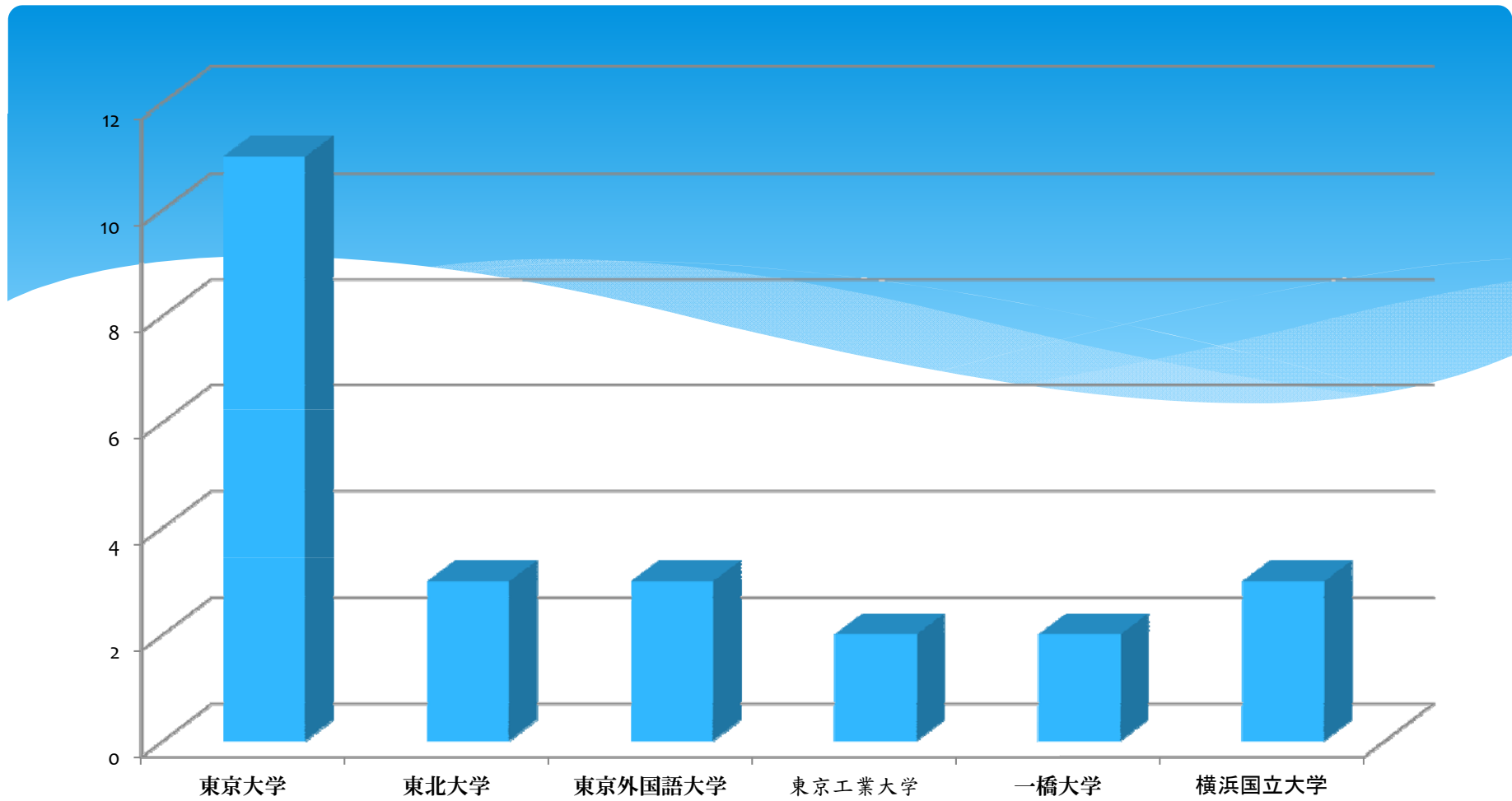
* アンケート回答数：25

* 実施時期：2012年8月～10月

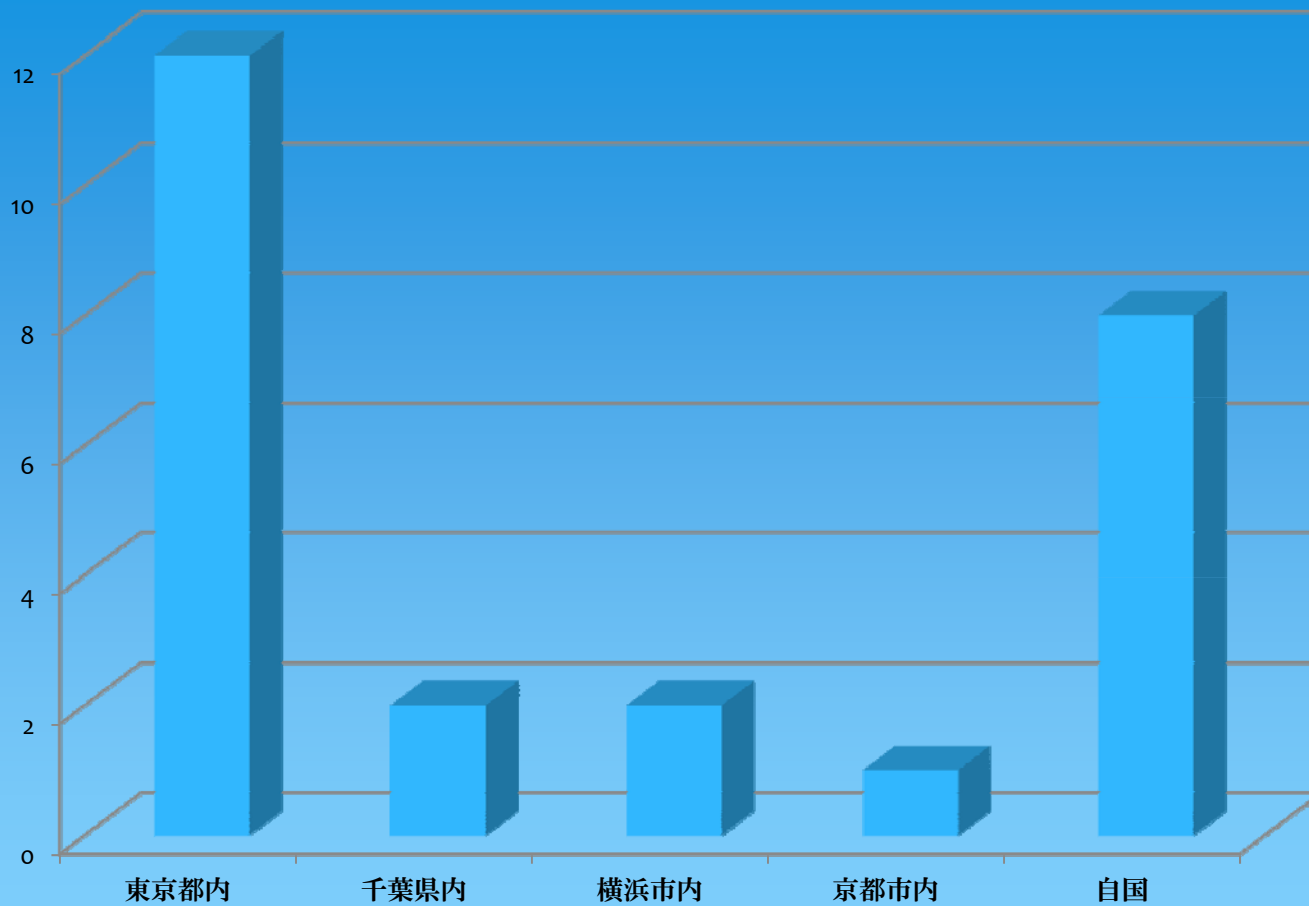


アンケート結果1

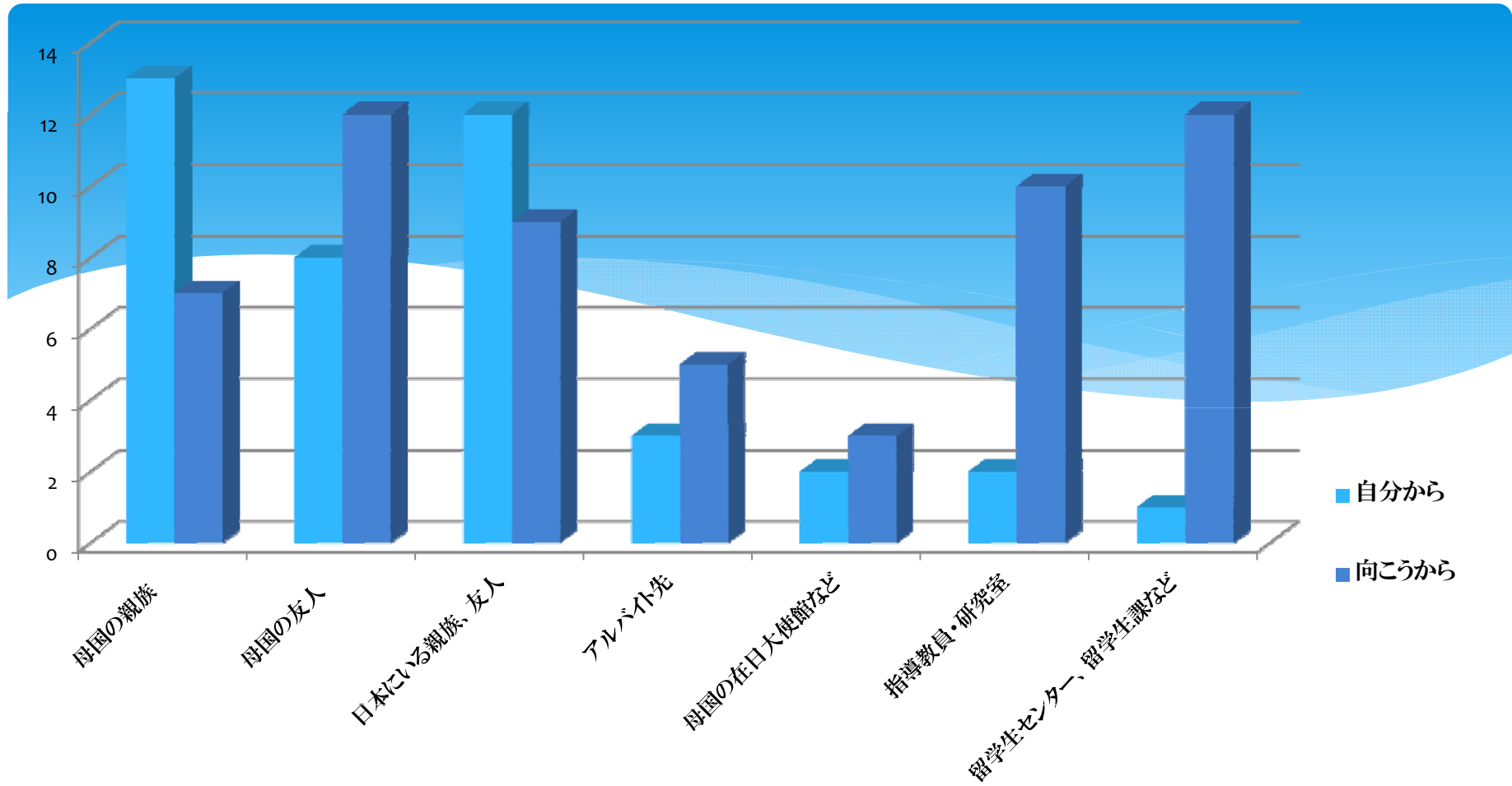
回答者・震災時の場所・連絡方法など
(1~5)



回答者の所属大学

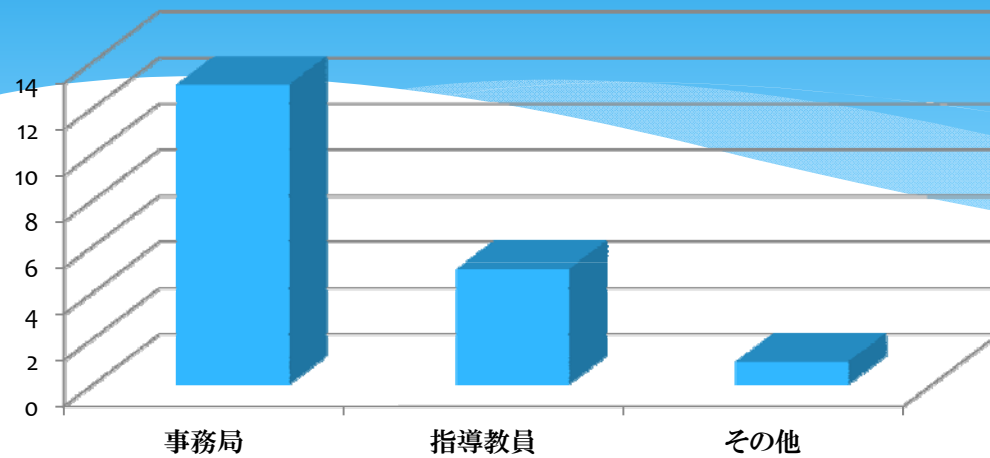


震災時どこにいたか？

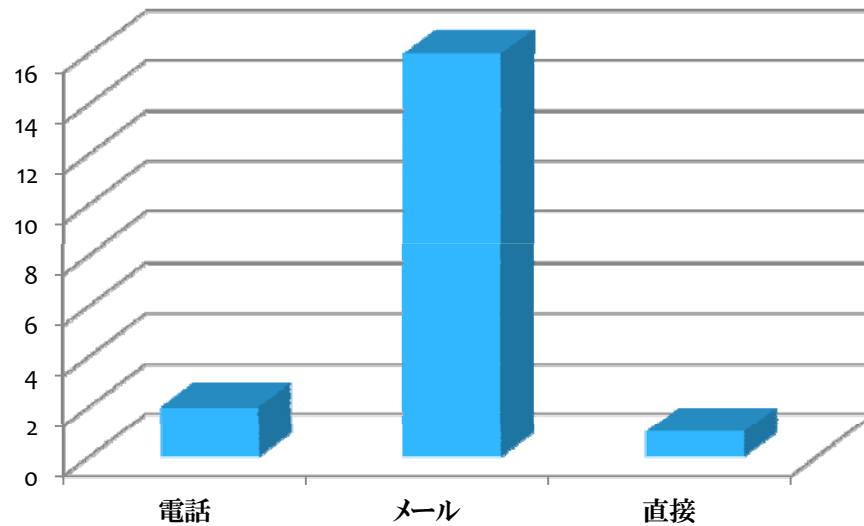


安否確認(誰に?・誰から?)

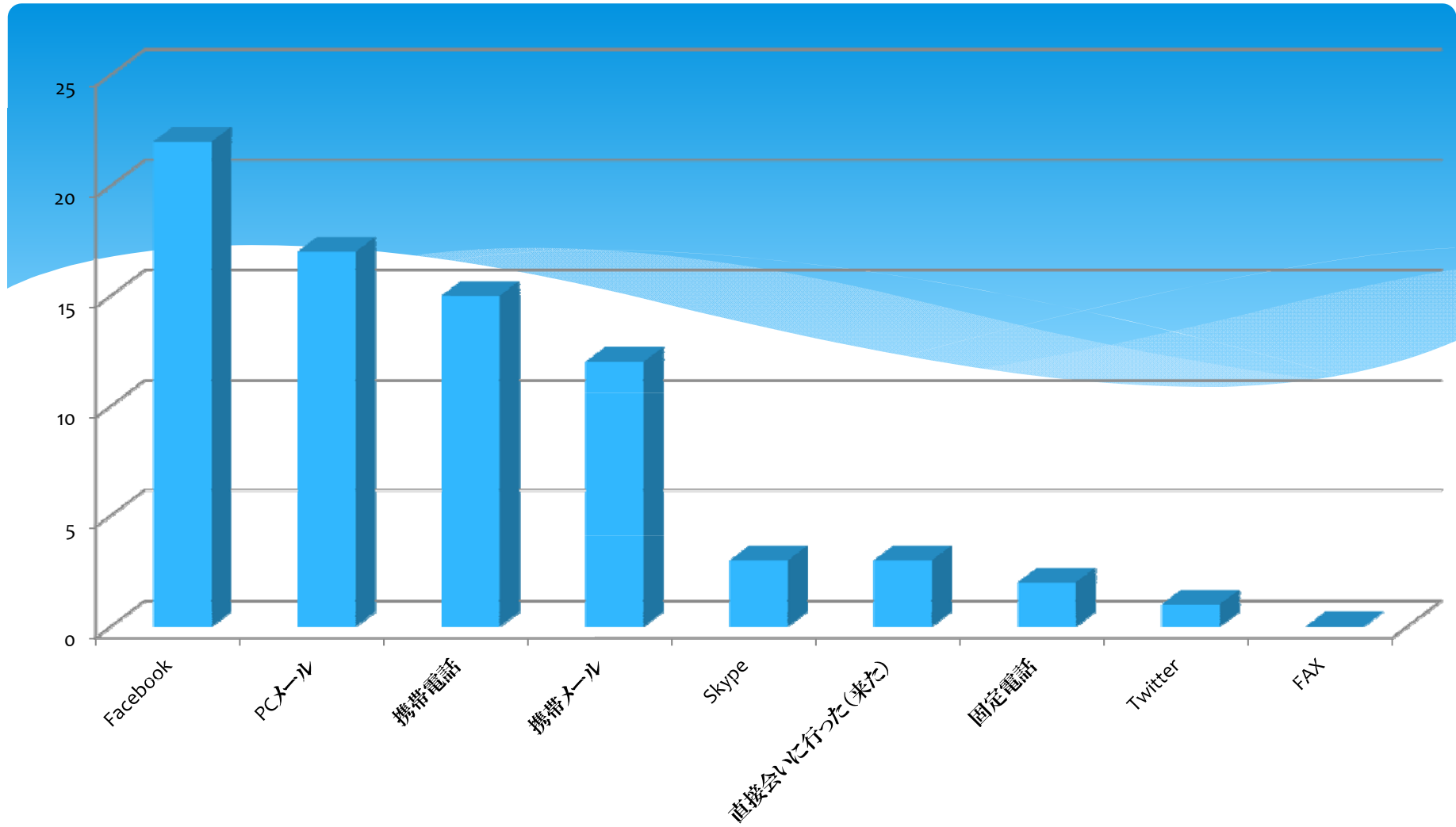
大学からの安否確認




どこから？



どうやって？



安否確認の方法



アンケート結果2
震災で困ったこととその解決
(6, 7)

6・震災1～2週間で困ったこと

1. 食糧・生活必需品・ライフラインの切断

- ・食品などが店から消えた
- ・計画停電
- ・交通機関の運休

2. 余震の心配

3. 情報の不足／不正確さ

- ・メディアの情報を信じていいかわからなかった
- ・特に原発関係の情報の不正確さ
- ・情報の不足・不正確さからくる精神的不安

4. その他

- ・帰国ビザが切れるという不安
- ・帰国してくれという家族からのプレッシャー

解決

1. 食糧・生活必需品・ライフラインの切断

- ・食品：友人同士で融通しあった。日本人からもらった。
- ・交通機関の運休：関東地方はしばらくして復旧

2. 余震の心配：(安全な場所に行く?)

3. 情報の不足／不正確さ

- ・ネットで情報を共有した。
- ・ニュースなどをどこまで信じていいのかは簡単には解決できない(日本のマスコミの体質?)

4. その他

- ・帰国ビザ：有効期限が延長された。
- ・帰国してくれという家族からのプレッシャー
←家族に状況を詳しく説明する。

家族に来てもらって東京の様子を見てもらう。

仙台で被災した学生へのインタビュー

(2008年度修了・東北大学生)

●経過

- ・木造アパートの1Fで被災(立ってられないほどの揺れ)。→初めて体験する地震ではなかったのでパニックにはならなかった。
- 近くの建物は倒壊はしなかったがヒビは入ったものも。
- 電気・水道・ガスが止まる(2日目から電気は復旧)
- ・1日目は近くのモスク、2日目から避難所(近くの学校)へ避難
- ・3日後にインドネシアに帰る。

●その他

- ・学校での避難訓練が役立った(避難所へ行くという指示)
- ・日本人の冷静さに驚く
- ・帰国中はインドネシア人や大学の友人と情報交換



まとめ

アンケート/インタビューから必要だと思われたこと

1. 地震の基礎知識

①地震がいつでも起こりうること

(特に地震のない国から来た学生に対して)

②ニュースなどで使われる基礎的な用語の学習

(ex.震度とマグニチュード)

2. 地震のための準備

- ・防災用品の準備

- ・避難訓練(避難経路・避難場所の把握)

- ・震災車の体験など

3. 地震中、いかに行動すればいいかのシミュレーション

- ・パニックになることを前提、揺れている時にどうすればいいか 等

4. 地震後の行動についての知識:情報へのアクセスと判断

→共同学習としての震災マニュアル作成へ



ご清聴ありがとうございました